

今又此山に五箇年あり。北は身延山と申て天にはしだて、南はたかとりと申て鷄足山の如し。西はなないたがれと申て鉄門に似たり。東は天子がたけと申て富士の御山にたい（対）したり。四の山は屏風の如し。北に大河あり。早河と名く。早き事箭をいるが如し。南に河あり。波木井河と名く。大石を木葉の如流す。東には富士河、北より南へ流れたり。せんほこ（千鉢）をつくが如し。内に滝あり。身延の滝と申。白布を天より引が如し。此内に狭小の地あり。日蓮が庵室なり。深山なれば昼も日を見奉らず。夜も月を詠る事なし。峰には巴峽の猿かまびすしく、谷には波の下る音鼓を打がごとし。地には敷ざれども大石多く、山には瓦礫より外には物なし。